

7/25 (日) ⑪海を越えてコロナ禍の中で闘う フィリピン民衆とともに AKAY分科会 ～軍事費でなく 命と暮らし 教育を！～ エルおおさか 501



コロナ危機をしたたかに乗りきる ABAKADA (アバカダ)

(マニラ郊外貧困地域就学前教育施設)
フィリピンでは感染者130万人超、死者23000人超で感染拡大が深刻です。現政権は、SNSのチェックや、「ワクチン接種するか”投獄されるか”」(6/21ロイター時事)などと大統領が発言する強権政治が進行。大量に失業者が続出で多くの人々子どもたちは飢えています。市民はパントリー(食料配布)活動でしたたかに抗しています。ABAKADAは150人の貧困地域の子どもたちの給食配布をこの1年継続。地域の市民団体、親たちの協力を作り出しています。



マパドロカ(戦争と貧困に反対する市民と家族)の議長ポール・ガランさんABAKADAスタッフたちとオンラインで交流します。



「子どもたちにとって教育は大切です！」
と熱く語るABAKADAの先生たち

対面授業禁止の中オンライン授業を生き生きとやりきりました。「平和な世界」をリモートで歌い踊る子どもたちです。

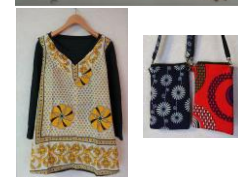


「熱意をもってリモートで語り掛けると、子どもたちもそれにこたえてくれました」と語る先生たち



ABAKADAの灯を ともし続けられた 2020～2021年！

コロナ禍の中で、皆さんの支援のもと、5人のスタッフの雇用を継続できたことは、大きな成果です。縫製のレイヤーさんも新作スマホポシェットにチャレンジできました。



プログラム

9時30分

- ・オープニング (ABAKADAのオンライン授業・給食配布活動卒業式ビデオより)
- ・基調 AKAYとABAKADAのコロナ禍での闘いの意義

9時45分

- ・ABAKADAより「コロナ禍の授業・給食配布活動から見てきたこと。地域変革をめざして」(ポール・ガランさん アミーガランさんABAKADAスタッフ)

10時30分

- ・健康セミナー「コロナ禍でも親子で元気に過ごす食薬の工夫」薬剤師漆山幸江さん
- 11時
- ・関東KOZENとABAKADAとの文化・メッセージ「コロナ禍で考えること」交流
- 11時30分…決議文意見交流
- 11時50分…「平和な世界」歌と手話で

主催：フィリピンAKAYプロジェクトとともに創る会
連絡先：090-9885-6680 kobukefam@jcom.zaq.ne.jp